

人間らしく働くための2015 さが宣言

私たちは、2015年11月28・29日の両日佐賀市において、「第26回人間らしく働くための九州セミナー」を開催し、九州・沖縄をはじめ500名の参加者を得て大きな成功をおさめました。

近年すすめられてきた派遣労働の自由化など新自由主義政策の下で、はたらく権利が侵害され、長引く深刻な不況とも相まって労働の現場では深刻な事態が生じています。

とりわけ、「貧困と格差社会」が一層拡大し、働くひとびとの生活と健康は一層悪化させられてきました。

昨年の鹿児島セミナーでは「ブラック企業社会における働くひとびとの健康権 まっとうな労働を取り戻そう」を基本コンセプトに開催し、労働現場で起こっている実態を明らかにしました。

今年は昨年のセミナーコンセプトを発展させ、ブラック企業対策をはじめとして、「まっとうな労働」生活を送るためには働く人びと（とりわけ若者）が「労働基準法・労働安全衛生法・労働組合法」など労働者を守る制度（「働くルール」）を知り活用することが重要であり、さらに「健康保険」や「生活保護」などの社会保障制度の活用法を知っておくことも重要です。そのために社会的教育、学校教育などでの「働くルール」に焦点を当てた取り組みをセミナー2日間の企画のなかで学び、どのように実践に繋げていくのか議論を深めることができました。

現地実行委員会では基本コンセプトに沿った事前学習会を行いました。3月に過労死問題から自分たちの働き方・働かされ方を学習しました。8月には学校、職場、地域で「労働法を学ぼう」というテーマで学習しました。9月には2日目の会場となった星生学園の生徒を対象に「ワークルール」の授業を行いました。本日の模擬授業にも生徒に参加して頂きました。

また、ブラック企業・ブラックバイトの実態を把握するためアンケート調査に取り組みました。この取り組みのまとめはシンポジウムと分科会で特別報告をしています。

「学び・調査し、行動する」一貫した活動である「セミナー運動」の大切さを実感し、人間味ある魅力的な運動として進めていくことへの確信をつかみました。

若い世代を含めた参加者一人一人が、今回のセミナーで学んだ知識と、語り合った情熱で、職場・地域での活動を飛躍させ、人間らしく働き、暮らせる職場・社会の実現を目指して行きたいと思います。

セミナー運動がさらに大きく羽ばたく事を誓い、セミナー宣言とします。

2015年11月29日

第26回人間らしく働くための九州セミナーin さが